

# 鍾馗

(しょうき)



人々を苦しめていた疫病神を鍾馗大神が  
宝剣と茅の輪を使って退治をする物語

古くは、須佐之男命が唐に渡った時、虚耗(きょもう)という悪鬼を退治し、その怨霊が日本に渡って来て再び須佐之男命と戦うというストーリーでした。鍾馗はもともと疫鬼を退け、魔を除く神として中国で民間の信仰を集めていました。